



学校教育目標 「 自ら行動、達成して感動 」

校 訓 「 自主・自律・連帯・創造 」

R 4. 1 2. 1 2発行 文責 校長 松崎大樹

令和4年も残り3週間あまり。今年の良き締めくくりに向けて、郡中では、歩みを止めない教育活動をしっかりと展開しています!

その1 12月6日(火) 交流学習会・人権集会を開催しました!

午前の部 虹の原特別支援学校との交流学習

午後の部 人権集会における講話 講師 県立ろう学校 教諭 長岡純斉 様

生徒一人一人の大切な「人権」を守るために、そして、生徒一人一人が安心、安全にこの郡中学校で学校生活を過ごせるように、私達の「人権」についてしっかりと考えてもらいたいという願いから、12月6日(火)「交流学習会・人権集会」を開催しました。

【午前の部】の虹の原特別支援学校との「交流学習会」は、第8波のコロナ感染拡大が危惧される中ではありましたが、3年ぶりの開催を実現させるため虹の原特別支援学校と郡中学校をリモートでつなぎ、I部の交流会とII部の学校紹介「虹のまつり」の動画視聴を通して、なかなか交流ができなかったため知ることができなかった、お互いの存在やそれぞれの学校の様子を学ぶことができる良い機会となりました。

また、【午後の部】の「人権集会」は、人権平和委員会の委員長 久田日菜海さん、副委員長 落水 奏さんの挨拶・進行により県立ろう学校佐世保分教室教諭 長岡純斉先生の講話を中心に進められ、最後に各学年の生徒代表が各学年の「人権宣言」を発表して幕を閉じました。

本日の「交流学習会・人権集会」を通して、お互いの違いを認め合い、お互いの立場を尊重し合うことで、生徒一人一人にとって郡中学校がもっと素敵な、そして、優しい学校になれることを心から願っています。

生徒達の感想を一部掲載しています。ご一読いただければ幸いです。



講 師

県立ろう学校佐世保分教室
教諭 長岡純斉 (ながおかすみなり)

生まれてからまもなく病気のために聴覚に障がいがある不自由な生活を余儀なくされました。しかし、厳しくとも温かい両親の支えや素敵な仲間、先生方との出会いそして、中学生の時は長崎県選抜選手、大村工業高校時代はエースアタッカー、現在も団体選手として活躍されているバレーボールとの出会いを通して、県立ろう学校教諭としての教育活動、また、障がい者スポーツにおけるバレーボールの普及活動に、意欲的に活躍されています。



【生徒の感想・・・虹の原特別支援学校との「交流学習会」より】

〇隣にある学校と言っても、今まで関わる機会がなく、どんな人たちがいるんだろうとか、私達との違いは何だろうか、と思うことが多くあった。今日、虹のまつりの動画で、龍おどりや太鼓などを行っているところを見て、障がいがあっても私達と何ら変わらないことをしているということがよく分かった。

〇郡中学校から一番近い学校なのに、虹の原のことを全く知らなかったが、今回の交流会を通して、少し知ることができたので良かった。特に、龍おどりでは、先生方のサポートがありながらも、自分たちで成功させたいという思いが伝わってきた。

〇虹の原の人たちが自分たちと同じように笑って楽しむことができ、とてもいいなと思った。リモートだったけど、全員が良い気持ちになった交流会ができて良かった。

〇虹の原の人たちが、虹のまつりに向かって、たくさん練習していることが分かった。障がいがある人たちが僕たちと同じように行事を頑張ったり、勉強をしたりできる今の日本の環境は素晴らしいと思う。後は、個人の差別をなくしていくことが大切と思う

【生徒の感想・・・「人権集会」における長岡純斉先生の講話を受けて】

〇聴覚に障がいがある、どうしてもできないことや不便だと感じるが出てくると思うけど、その中で精一杯いるんなことに挑戦する姿が、とてもカッコいいなと思った。障がいの有無で差別されるような社会を絶対に作ってはならないと感じた。

〇今日のお話のなかで長岡さんのお母さんが言われた「耳が障がいがあっても、人としての障がいは絶対に負わせない」という言葉が、とても心に残った。今日のお話を聞いて、差別されたりしたりという行動を、絶対にはいけないと改めて思った。

〇長岡さんのお話を聞いて、普段、身の回りで見るのではない耳の聞こえない人のことを再認識することができた。これまでの体験談を聞いて、困っている人が周りにいたら声をかけるという少しの気遣いだけで、人は安心できるのだと思った。もっと身の回りの人を大切にしたい。障がいがある、ないは関係なく、仲良く生きよう!と思う。

〇長岡さんのお話を聞いて、少し今の自分の状況と似ている部分があつた。自分も、高校受験でどこの高校受けるか迷っていた。そんな時に、ある人に「自分が行きたい高校に行くのか、自分が行ける高校に行くのか」と言われた。この言葉を聞いて、僕は志望校をハッキリ決めた。そこが少し似ていると思って、今日の話を知ることができた。

郡っ子人権宣言1年

1. いじめなど嫌なことをしている人がいたら、そのままにしないで注意します
1. 班活動や係を通して仲間と話し合います
1. 一人にいる人や困っている人に勇気を出して話かけてみます
- 1.辛いときには相談し合える学年にします
1. みんなが仲良くなるためにレクリエーションなどをして毎日楽しく過ごせる学年にします

郡っ子人権宣言2年

1. 誰とでも仲良くします
1. ポイ捨てをなくします
1. 言葉遣いを見直します
1. 相手のことを考えて行動します
1. 平和について考えます

長岡先生の講話がみなさんの心に響いたこと、大変嬉しく思っています。これからも一人一人の人権を大切にしていきたいと思います。



郡っ子人権宣言3年

1. 募金活動やボランティア活動をして困っている人の手伝いをします
1. みんなで、勉強を教え合います
1. 買った物はきちんと最後まで大切に使います
1. 班活動や集団活動の時、お互いの意見を尊重します
1. 暴力や悪口をしないように呼びかけをし、なくすようにします

その2 「18歳選挙権が始まって6年目」 3年生対象に主権者教育の一環として「票育」の授業を行いました!

11月29日(火)大村市選挙管理委員会と株式会社POTETO Mediaの協力のもと、「票育」という授業を開催しました。この「票育」という授業は、新しい政治・主権者教育のことで、大村市から正式に認定された県内の22歳以下の大学生・高校生で組織された票育CREWのみなさんと、この「票育」の授業を行っていただきました。生徒・保護者の皆さんもご存じのように2016年から18歳になれば「選挙」の際に投票ができるようになりました。つまり、本校の生徒達も18歳になれば、高校生であっても「選挙」という方法で政治に参加することができるのです。

3年生の生徒のみなさんには、この「票育」の授業を通して、自分たちの生活や社会をもっと良くしたい!と思った時、「選挙」に行き投票することで、自分たちの意見を生活や社会に反映させようとする参画意識を持った主権者に育ててほしいと思っています。

授業のねらい

(1) とても大村市に似た架空の〇村市市長選を通して自分たちの地域が抱える課題の一例を知り、それを自分の生活や将来と照らし合わせることで課題を自分ごととして捉えてもらう。

(2) グループディスカッションを通じて同級生と考え方を共有し、自分だけでなく他の意見も念頭に置きつつ、誰に投票すべきか思考する。

(3) 実際の投票フロー(=工程)で自分の意思を投じることで、本番の投票を模擬体験してもらう。



架空の〇村市市長選に立候補された3名の候補者の方々

○石丸なお氏(左)・・・「日本で一番災害に強い町〇村」を主張
○金子さや氏(中)・・・「あるものを活かした魅力ある町〇村」を主張
○山道まゆ氏(右)・・・「さらに生活が便利になる町〇村」を主張



立候補者の演説を聞き、意見交換後、グループで各候補者のビジョンを協議しました。その協議の結果、決定した立候補者に実際の選挙管理委員会委員4名の立ち会いのもと、生徒一人一人が候補者に投票しました。そして、開票の結果、今回の郡中における模擬選挙では「日本で一番災害に強い町〇村」を主張された石丸なお氏が当選されました。

志

その3 学校評議員参列のもと、竹松・福重・松原の3健全協との共催による 12月9日(金) 2年生対象の「立志式」を開催しました。

志



克己(2組)
心を鎮め、慌てふためくな。失敗が反省を促し、失意が自分を磨くのだ。

誠
人から愛され
信頼してもらえよう
あたりまえに敬意をもち
誠実に生きることに
できる大人になりたい。
落水 奏

極
自分の限界は、
乗り越えるためにあるのだ。
弱みを強みに変え、
なすつてい、かり前へ進む

「志」発表を担当した学年代表の生徒達

クラス全員による決意表明(2-2)

2年生生徒代表の漢字一文字に込めた「志」

2年生のみなさんへ
本校における「立志式」は、3年生への進級を控えた2年生のこの時期、郡中校区の竹松、福重、松原の3健全協の皆様と共に、一番身近なところで生徒達を温かく育み、支援していただいている保護者の皆様、そして、本校の学校評議員様・PTA会長様に参列いただく中で、2年生のみなさん一人一人が、自己を見つめ、将来への「志」を立てることで、これからの生活に指針を持ち、新しい自分の出発点となることを願って開催しています。
まもなく2年生のみなさんは3年生になります。学校では最上級生として、様々な学校行事や各種大会を通して、後輩達に目標となる手本を示す立場になります。また、一年後には、自分の将来を方向付ける進路を、自分の力で切り開き、その自分で選んだ道を歩いていくことになるのです。たとえ、それがどんな道であろうとも、自分の力と判断で選んだ道だからこそ、言い訳はできません。自分の夢や希望の実現に向けて、一日、一日、しっかりと歩み続けなければいけないのです。今日「立志式」は、そのことを深く覚悟をする日とも言えます。
自分を、さらには、自分の周りにいる人々を、より高め、幸福にしていこうとする心、思いが「志」です。これからも、高い「志」を持つ中で、「自分を見つめることができる人」として、これからの人生を歩み、自分の夢や希望に向かってまっすぐに生きていってください。きっと夢や希望にまっすぐに向かうその誠実な生き方が、周りに力を与え、認められる中で、「信頼される人」として充実した人生につながっていくのだと思います。そんなみなさんの頑張りを、郡中学校は、保護者、PTA、そして地域の竹松、福重、松原の3健全協の皆様と共に応援し続けます。
校長より(※立志式における挨拶を一部抜粋して掲載させていただきました。)

12月16日(金)「大村市学力検査」1年 国・数・英(3~5校時) 2年 国・数・英(1~3校時) 負けられない戦いはまだ続いています・・・最後の追い上げを大切に!